



CHAPTER 4

ラックの取り付け

この章では、モビリティ サービス エンジンにレール ハードウェアを設置し、4 支柱ラックに製品を設置する手順について説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- 「はじめる前に」 (P.4-1)
- 「モビリティ サービス エンジンの開梱」 (P.4-2)
- 「インストレーションに関する注意事項」 (P.4-2)
- 「ラック ハンドルの取り外しと再装着」 (P.4-3)
- 「4 支柱ラックへのモビリティ サービス エンジンのマウント」 (P.4-4)

はじめる前に

設置を開始する前に、装置に付属している『*Regulatory Safety and Compliance Information for the Cisco 3310 Mobility Services Engine*』マニュアルをお読みください。

必要なツール

ラック マウントの手順を完了するには、次のツールが必要です。

- プラス ドライバ (#1 ビットと #2 ビット)
- ラック ネジ 4 本

モビリティ サービス エンジンの開梱

次の手順に従って、モビリティ サービス エンジン を開梱してください。

- ステップ 1 梱包箱を開いて、中味を慎重に取り出します。
- ステップ 2 梱包資材をすべて箱に戻して保管しておきます。
- ステップ 3 「[パッケージの内容物](#)」の項に記載されているすべての品目が揃っていることを確認します。
- ステップ 4 各品目に破損がないことを確認します。内容物が破損または不足している場合は、シスコの営業担当者にご連絡ください。

パッケージの内容物

各 モビリティ サービス エンジン パッケージには次のアイテムが含まれています。

- Cisco 3310 モビリティ サービス エンジンを 1 枚
- AC 電源コード
- RJ-45/DB-9 アダプタのコンソール接続用の DB-9 シリアル ケーブル
- このマニュアル (『Cisco 3310 モビリティ サービス エンジン スタートアップガイド』)
- 4 支柱設置キット (任意)



(注) この製品に 2 支柱設置キットは提供されていません。

インストールに関する注意事項

インストールを開始する前に、この項の警告および注意を確認します。

**注意**

電源内でユーザが保守できる部品はありません。サービスが必要な場合、シスコにお問い合わせください。

**注意**

モビリティ サービス エンジンの動作温度は、装置ラックへの設置の時点で、50 °F (10 °C) を下回ったり、95 °F (30 °C) を上回ったりしてはなりません。温度の極端な変動は、モビリティ サービス エンジンにさまざまな問題を誘発することがあります。

**注意**

装置ラックの モビリティ サービス エンジンの前面には、適切な冷却を維持するために十分なエアフローを提供する必要があります。

ラック ハンドルの取り外しと再装着

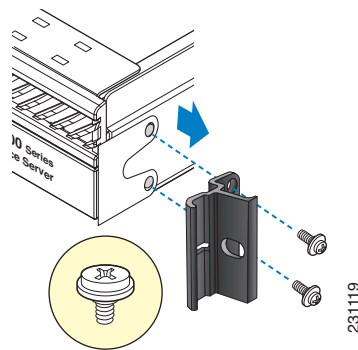
モビリティ サービス エンジンは、製品を装置ラックに簡単に取り付けることができるよう、ラック ハンドルを取り付けた状態で出荷されます。この項では、ラック ハンドルの取り外し手順と再装着手順について説明します。

ラック ハンドルの取り外し

ラック ハンドルをモビリティ サービス エンジンから取り外すには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 「安全上の警告」(P.2-1) および「安全に関する注意事項」(P.2-3) の情報を確認します。
- ステップ 2 モビリティ サービス エンジンの電源をオフにし、すべての周辺デバイスと AC 電源ケーブルを取り外します。
- ステップ 3 ラック ハンドルとベゼルを固定している 2 本のネジを取り外し、[図 4-1](#) のようにモビリティ サービス エンジンからラック ハンドルを取り外します。
- ステップ 4 ネジを使用して、ベゼルを再度取り付けます。

図 4-1 ラック ハンドルの取り外し



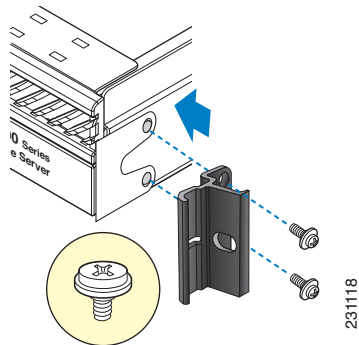
- ステップ 5 システムの反対側で[ステップ 4](#)と[ステップ 3](#)を繰り返します。
- ステップ 6 モビリティ サービス エンジンに、すべての周辺デバイスと AC 電源ケーブルを接続します。

ラック ハンドルの再装着

モビリティ サービス エンジンにラック ハンドルを再装着するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 「安全上の警告」(P.2-1) および「安全に関する注意事項」(P.2-3) の情報を確認します。
- ステップ 2 デバイス、および接続されているすべてのデバイスの電源を切ります。電源コードおよびすべての外部ケーブルを外します。
- ステップ 3 ベゼルのシャーシに装着しているネジを取り外します ()。
- ステップ 4 2 本のネジで、[図 4-2](#) のようにラック ハンドルをモビリティ サービス エンジンに装着します。

図 4-2 ラック ハンドルの取り付け



- ステップ 5** モビリティ サービス エンジンの反対側で**ステップ 4**と**ステップ 3**を繰り返します。
- ステップ 6** モビリティ サービス エンジンに、すべての周辺デバイスと AC 電源ケーブルを接続します。

4 支柱ラックへのモビリティ サービス エンジンのマウント



警告

安定性に注意してください。ラックの安定装置をかけるか、ラックを床にボルトで固定してから、保守のために装置を取り外す必要があります。ラックを安定させないと、転倒することがあります。ステートメント 1048



警告

シャーシは、建物に恒久的に固定されたラックに取り付ける必要があります。ステートメント 1049

この項では、次のトピックを扱います。

- 「4 支柱取り付けキットの内容」(P.4-4)
- 「シャーシブラケットのシャーシへの装着」(P.4-6)
- 「レールハードウェアのラックへの装着」(P.4-6)
- 「シャーシのラックへの取り付け」(P.4-7)

4 支柱取り付けキットの内容

4 支柱取り付けキットには、独立した左側と右側のスライド レール部品とシャーシブラケットが含まれています。図 4-3 に 4 支柱のハードウェア キットの細部を示します。



(注)

各スライド レール部品は 3 つの要素で構成され、スライドすることで長さをいっぱい伸ばします。リリース ボタンなど一番内側部分の機能に到達するには、一番内側部分の端をつかみ、その部分を格納部分からしっかりと引き出す必要があります (スライド レール部品が図 4-3 に表示されている最上部の部品です)。

図 4-3 4 支柱ハードウェア キット

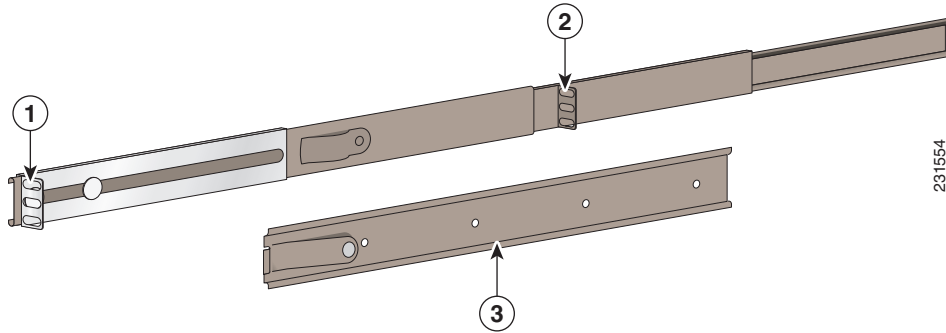
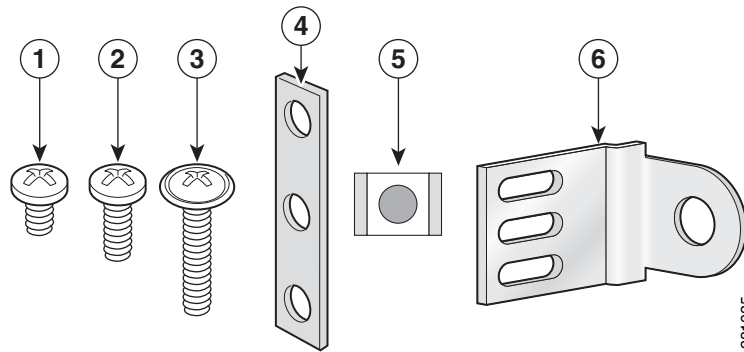


表 4-1 4 支柱ハードウェア キット

| | | | |
|---|----------------------|---|------------|
| 1 | スライド レール部品の背面ブラケット部分 | 3 | シャーシ ブラケット |
| 2 | スライド レール部品の前面ブラケット部分 | | |

図 4-4 に 4 本支柱ラックへの設置用留め具を示します。

図 4-4 4 本支柱ラックへの設置用留め具



| 項目 | 説明 | Quantity |
|----|------------------------------|----------|
| 1 | ネジ、#10-32 x 1/4 インチ | 8 |
| 2 | ネジ、#10-32 x 1/2 インチ (ラック ネジ) | 10 |
| 3 | ネジ、#10-32 x 7/8 インチ | 8 |
| 4 | ナット棒 (不使用) | 4 |
| 5 | ケージ ナット ¹ | 12 |
| 6 | ブラケット | 2 |

1. ラックの正方形の穴に対応が必要な場合にのみケージ ナットが必要です。

シャーシ ブラケットのシャーシへの装着

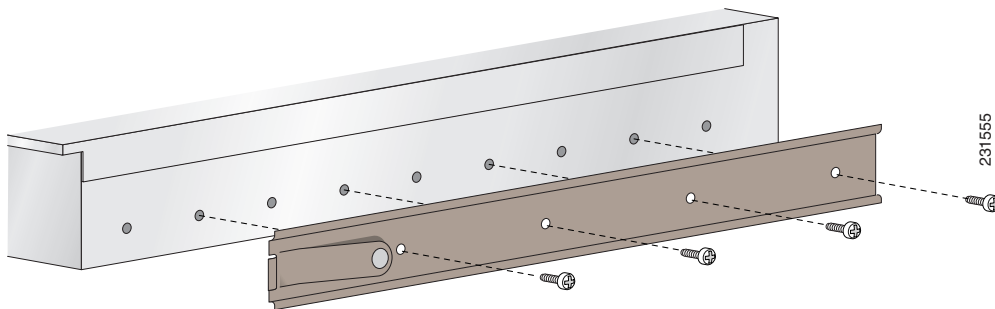
シャーシ ブラケットをシャーシに装着するには、次のコンポーネントが必要です。

- シャーシ ブラケット
- ネジ、1/4 インチ

シャーシにハードウェアを装着するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** シャーシ側面の横穴とシャーシ ブラケットの穴を、2 番目の穴から合わせます。シャーシ ブラケットの緩めバネは、モビリティ サービス エンジンの背面へ、シャーシから外方向を向いている必要があります (図 4-5 を参照)。

図 4-5 シャーシ ブラケットのモビリティ サービス エンジン シャーシへの装着



- ステップ 2** 1/4 インチ ネジを使用して、シャーシにシャーシ ブラケットを取り付けます。
- ステップ 3** シャーシの反対側にシャーシ ブラケットを同様に接続します。

レール ハードウェアのラックへの装着

4 支柱ラックにレール ハードウェアを接続するには、次のコンポーネントが必要です。

- スライド レール部品
- ラック用ネジ



(注) この手順では、4 支柱のネジ穴のラックにスライド レール部品を取り付ける手順について説明します。4 支柱ラックが長方形の穴を使用する場合は、スライド レール部品を支柱にしっかり接続するため、適切なアダプタがあることを確認します。

シャーシにハードウェアを装着するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** シャーシを設置するラックの位置を決定します。
- ステップ 2** 背面ポストの外側に背面 (調整可能) ブラケットを配置します。ラック ネジを使用して、支柱にブラケットを取り付けます。
- ステップ 3** 前面支柱の対応する穴にスライド レール部品のもう一方の端を揃えます。ラック ネジを使用して、前面支柱の前面にフロント ブラケットを取り付けます。

- ステップ 4** 同様に、反対側のラックにスライド レール部品を設置します。2 本のレールが揃っていることと、レールの端が同じ高さであることを確認します。

シャーシのラックへの取り付け



注意

前面から背面にかけて高さが揃っていないホールにスライド レールを取り付けると、スライド レールを損傷するおそれがあります。



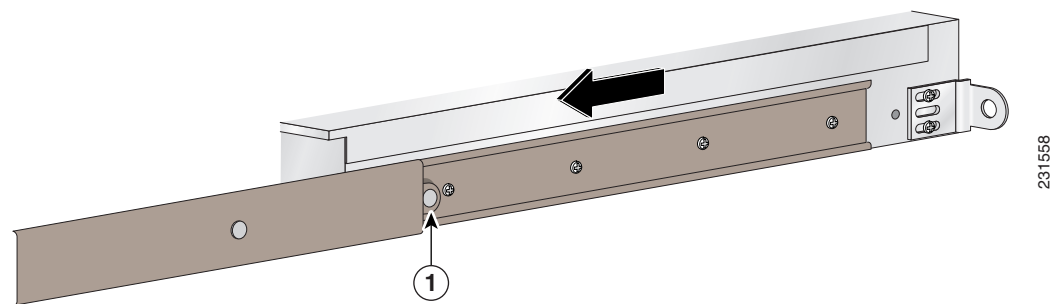
(注)

シャーシを持ち上げ、ラックに取り付けるときは 2 人で行います。1 人は、モビリティ サービス エンジンを持ち上げて保持できることが必要です。重量は約 20.0 ポンド (9 kg) です。

シャーシをラックに搭載するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 所定の位置でロックされるまで、ラックに設置されたスライド レール部品の内側レール部分を伸ばします。
- ステップ 2** シャーシブラケットの後端がレール ハードウェアの前端に合うようにシャーシを配置します。
- ステップ 3** シャーシブラケットをスライド レール部品にスライドさせます。(緩めバネを押す必要がある場合があります (図 4-6 の項目 1))。

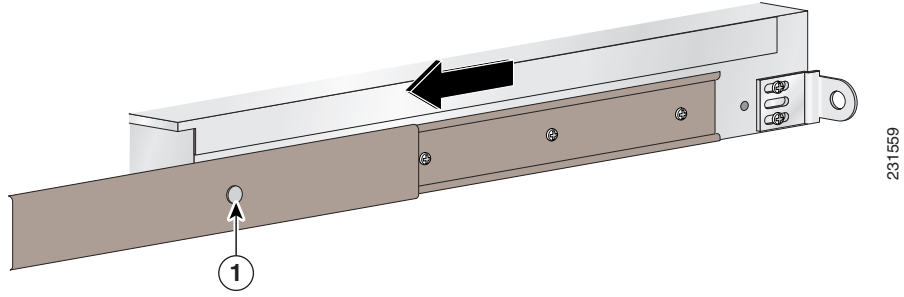
図 4-6 シャーシ ブラケットのスライド レール部品へのスライド



- | | |
|---|---------|
| 1 | バネのリリース |
|---|---------|

- ステップ 4** カチッという音がして緩めバネがはまるまでシャーシ ブラケットをスライドさせます。スライド レール部品がシャーシの重量を支えるようになっているはずですが。
- ステップ 5** シャーシをラックに押しこむには、伸ばしたスライド レール部品上のバネのリリース ボタンを押します (図 4-7 の項目 1)。その後、シャーシのブラケットがラックの前面支柱に触れるまで、シャーシをスライドさせます。

図 4-7 ラックへのシャーシの差し込み



| | |
|---|---------|
| 1 | バネのリリース |
|---|---------|